

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会および期末配当金 3月31日 中間配当金(実施する場合) 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ		電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」のお問い合わせ先をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続きを行っていただく必要があります。
公告方法	電子公告によって行います。(https://www.carlithd.co.jp) ただし、事故その他止むを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場	

カーリットホールディングス株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目17番10号
TEL：03-6893-7070 FAX：03-6893-7050

<https://www.carlithd.co.jp>

カーリットHD 検索



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

株主の皆さまの声を聞かせください



当社は、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー



スマートフォンから
カメラ機能でQRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を贈呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。 <https://www.pronexus.co.jp/>
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp

カーリットホールディングス株式会社



中間株主通信

2024年3月期 第2四半期 報告書

(2023年4月1日—2023年9月30日)



- 01 事業領域
- 02 トップメッセージ
- 03 トップインタビュー
- 05 セグメント概況
- 07 連結財務ハイライト
- 08 連結財務諸表 (要約)
- 09 トピックス

証券コード 4275

1918年に「カーリット爆薬」の製造技術を導入して以来、カーリットグループは塩水の電気分解技術をもとに様々な製品を生み出し、人々の暮らしに貢献してきました。

現在は化学品事業部門、ボトリング事業部門、金属加工事業部門、エンジニアリングサービス事業部門の4つの事業領域を通じ、様々な製品・サービスを提供しています。

今後も幅広い事業領域の強みを活かし、社会から必要とされる製品・サービスの提供を通じて産業の発展と人々の豊かな暮らしを支えてまいります。

化学品事業	化薬分野 C G 、受託評価分野 H 、 化成品分野 A I 、電子材料分野、 セラミック材料分野 F 、 半導体用シリコンウェーハ、その他
ボトリング事業	ペットボトル飲料、 缶飲料、 委託品
金属加工事業	耐熱炉内用金物 B 、 各種金属スプリングおよびプレス品 E
エンジニアリング サービス事業	建築・設備工事、 塗料販売・塗装工事 D 、 構造設計



■ 連結業績ハイライト（単位：百万円）

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
17,672 (前年同期比0.5%増)	1,384 (前年同期比25.3%増)	1,564 (前年同期比21.6%増)	1,173 (前年同期比23.4%増)

株主の皆さまへ

**カーリットグループは
事業構造の変革に取り組み、
グループ一丸となって持続可能な社会づくりと
人々の幸せな暮らしに貢献してまいります。**

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの2023年度上半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）が終了いたしましたので、決算の概要および今後の事業展開につきましてご報告申し上げます。

事業ポートフォリオに基づく事業領域ごとの経営管理区分の見直しに伴い、4月より報告セグメントを変更しました。これにより注力領域、育成領域の経営体制を強化しています。

このような体制下、上半期は原材料価格の高騰やエネルギーコスト上昇が続くなか、業務改善や原価低減を進め、適正価格の維持につきましてもお取引先さまから一定のご理解を得ることができました。その結果、期初の予想値を上回る結果となり、増収増益となりました。

当社は純粋持株会社体制に移行して、今年で10年を迎えます。経営と事業運営を分離することでグループ経営の全体最適化を図り、既存事業の構造改革や財務体質の改善等の課題克服に一定の目途をつけることができました。これらの背景により2024年度に純粋持株会社体制から事業持株会社体制への移行を計画しています。事業会社と経営を一体化することにより、一層の成長戦略の推進と経営効率の最適化を目指してまいります。

代表取締役兼社長執行役員 **金子 洋文**





「収穫と飛躍」につながる
「基盤強化」により、
「強い」カーリットグループを
目指します。

代表取締役兼社長執行役員

金子 洋文

Q 上半期の業績と通期の見通しについて教えてください。

2023年度上半期の業績につきましては、化学品事業のうち電子材料分野やシリコンウェーハ分野はこれまで世界的な半導体需要低迷の影響などを受けておりますが、その他の事業分野においては好調に推移しました。また業務改善や原価低減等が進んだことも奏功し、前年同期と比較し増収増益となりました。

下半期は海外経済の減速や半導体市場の低迷継続が下押し要因となり、低成長となる見通しです。各セグメント別では、化学品事業は半導体市場の低迷が継続する一方、自動車向け製品や基礎化学品関連製品の販売は堅調に推移する見通しです。ボトリング事業はインバウンド需要の復調と冬季の飲料消費により増収増益が続くと予想しています。金属加工事業およびエンジニアリングサービス事業については、国内経済動向に合わせ堅調に推移するものと予想しています。

Q 中期経営計画の進捗状況はいかがですか。

中期経営計画「Challenge2024」の折り返しとなる2023年度は、経営環境の変化に柔軟に対応することで、中期経営計画「Challenge2024」の達成をより確実とすることを目的に計画の見直しを行い、PBR（ROEおよびPER）の向上を目指した中期経営計画「Challenge2024 ローリングプラン2023」を新たに策定いたしました。

2023年度上半期は、中期経営計画の「成長事業の加速化」「研究開発の拡充」「既存事業の収益性改善」「ESG経営の高度化」「事業インフラの再構築」という5つの戦略をもとに、ローリングプランにて当社のPBRの向上を目指した具体的な施策を右図の通り定め、日本カーリットの過塩素酸アンモニウム増産計画や退職給付信託の設定等、すでに着手を進めています。

2023年度下半期においては、事業ポートフォリオ

経営の高度化にもとづく「子会社の整理・統合」「迅速な意思決定」の取り組みとなる事業持株会社体制への移行準備を中心に、「業務の見直し」や「知的資本投資や生産設備増強」、「IR・SR戦略の強化」等の取り組みを継続してまいります。

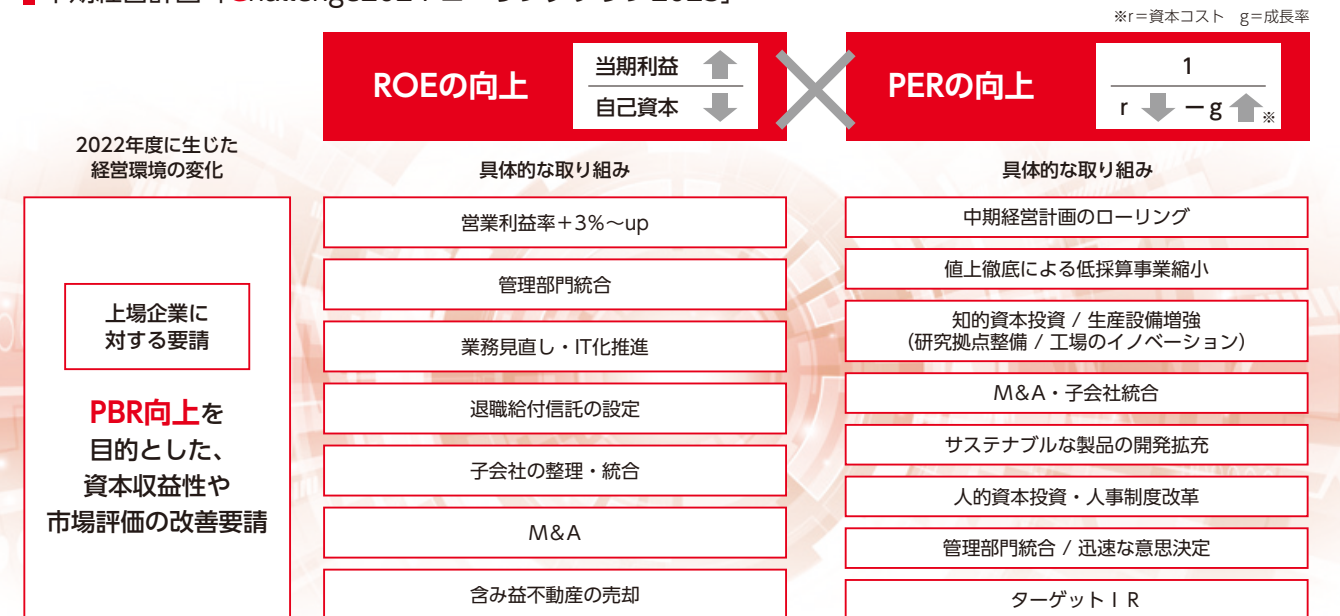
今後も5つの戦略とローリングプラン2023を推進し、中期経営計画「Challenge2024」の達成と「2030年のありたい姿」の実現に向け、各施策に取り組んでまいります。

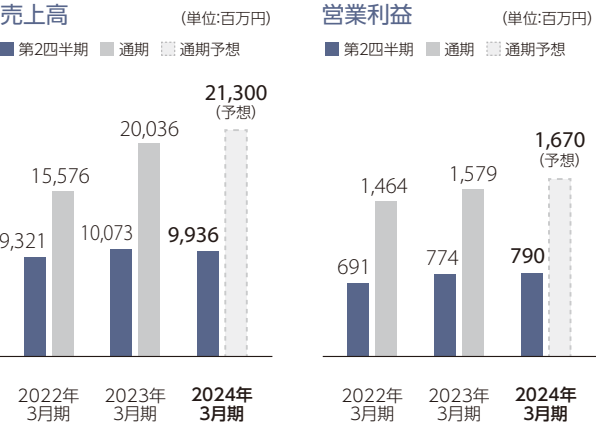
Q 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

当社は、「事業インフラの再構築」戦略の一環として意思決定の迅速化・管理部門のスリム化・人員のリバランス等を行うため2024年度中に、日本カーリットとシリコンテクノロジーを当社に合併し、現在の純粋持株会社体制から事業持株会社体制へ移行する予定です。

企業経営を取り巻く環境が厳しさを増している今こそ、経営理念「信頼と限りなき挑戦」をもとに、従業員全員の力を集結して積極果敢に挑戦し、信頼のモノづくりとサービスで安心と豊かさを届け、「2030年のありたい姿」の実現を目指してまいります。株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

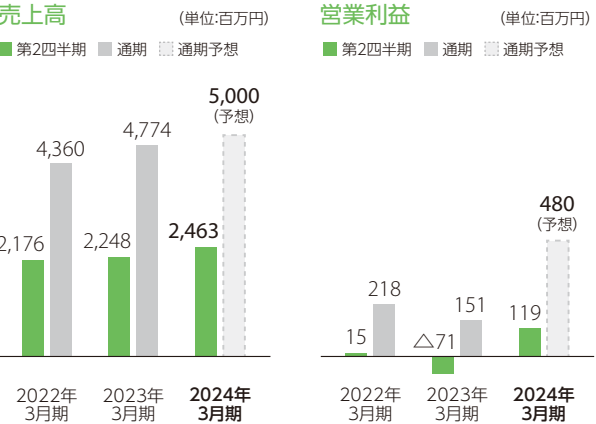
■ 中期経営計画「Challenge2024 ローリングプラン2023」





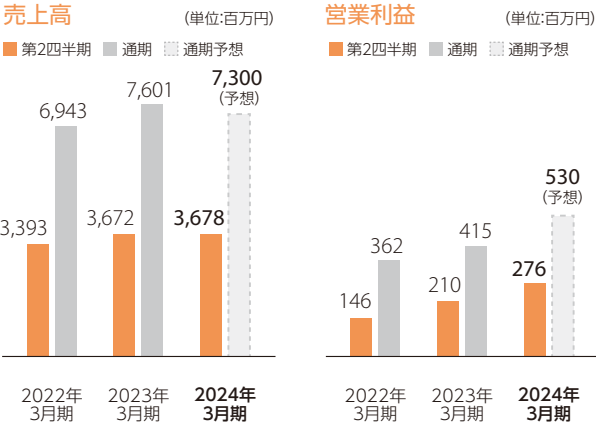
POINT

化薬分野では発炎筒関連製品の好調、受託評価分野は電池開発の活況を背景に評価試験が好調、化成品分野は顧客需要増により、いずれも増収増益となりました。一方、電子材料分野、セラミック材料分野、シリコンウェーハ分野は主要顧客の需要の落ち込みにより、減収減益となりましたが、化学品事業部門全体としては、増収増益となりました。



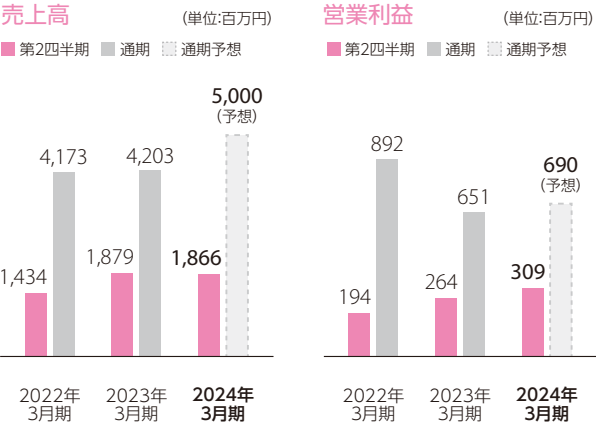
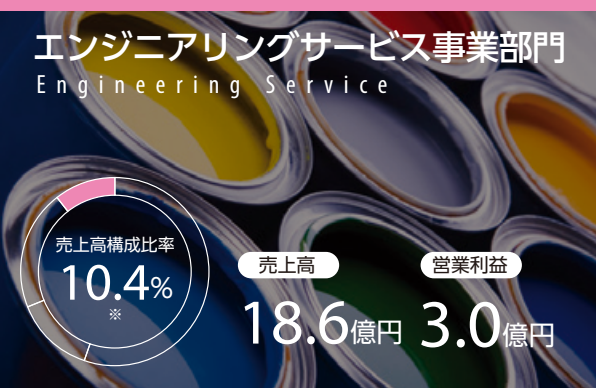
POINT

ペットボトル飲料が個人消費とインバウンド需要の高まりにより、順調に推移しました。加えて、適正価格の維持およびコスト改善の取り組みにより増収増益となりました。



POINT

耐熱炉内用金物は安定的成長と採算性重視を目的とした前期の関連子会社売却、販売品目の構成見直しにより減収するも、適正価格の維持や強みある商品へのリソース集中等の推進により、増益となりました。各種金属スプリングおよびプレス品は、自動車・建設機械関連需要ともに好調により増収するも、原材料価格の変動により利益は横ばいとなりました。

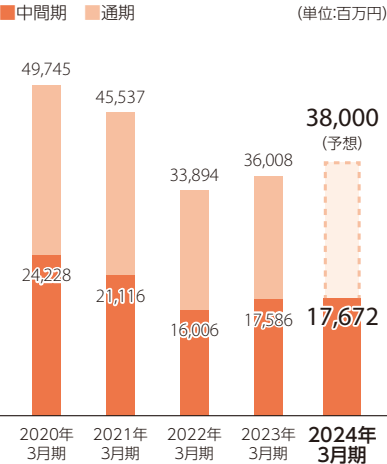


POINT

建築・設備工事は、大型工事件件および収益性の高い案件が得られず減収減益となりましたが、塗料販売・塗装工事は、市場環境の好調により、増収増益となりました。また構造設計も、収益性の高い案件の増加により、増収増益となりました。

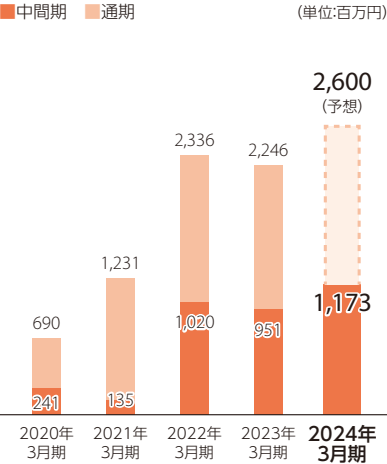
※その他、消去を抜いた数値で表示しております。

売上高
17,672 百万円 (前年同期比0.5%増)

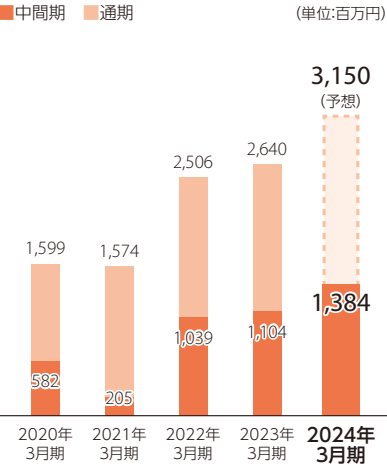


※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用

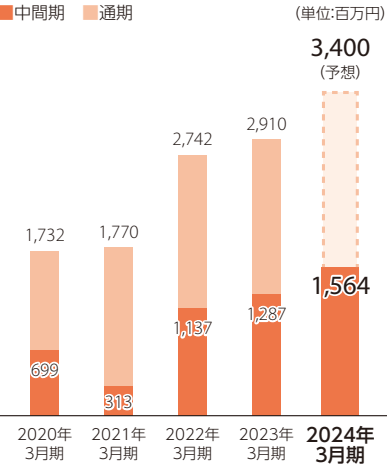
親会社株主に帰属する純利益
1,173 百万円 (前年同期比23.4%増)



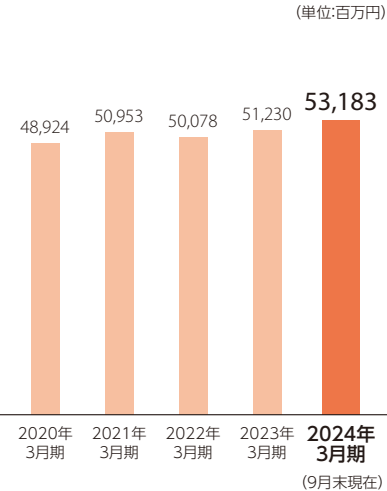
営業利益
1,384 百万円 (前年同期比25.3%増)



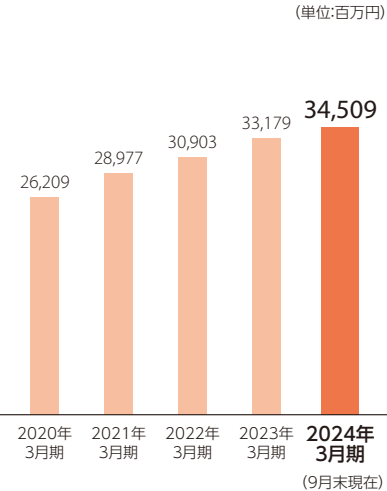
経常利益
1,564 百万円 (前年同期比21.6%増)



総資産
53,183 百万円 (前年同期比3.8%増)

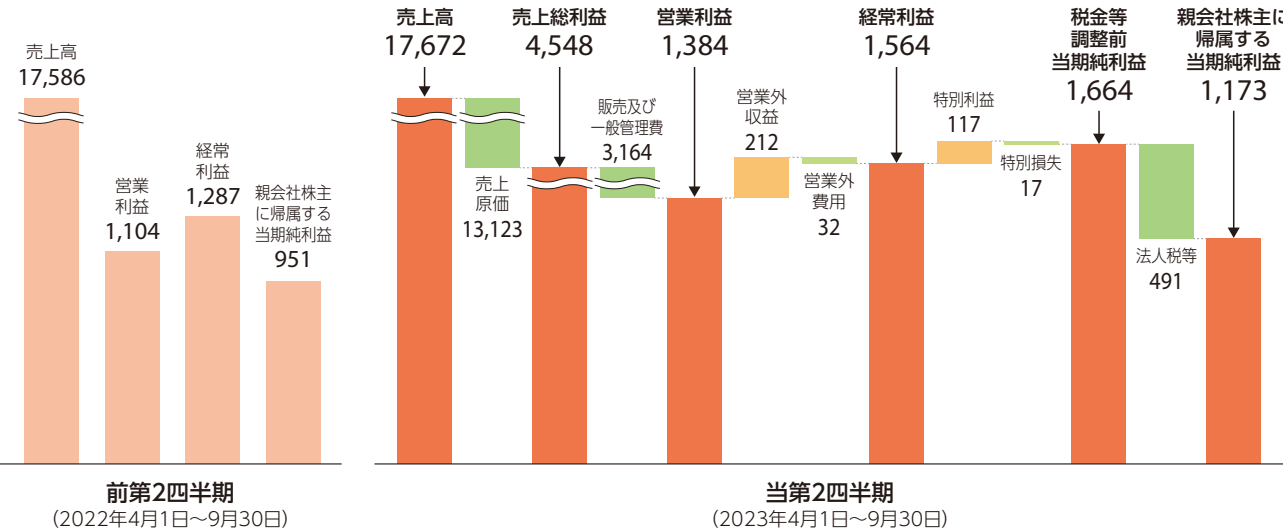


純資産
34,509 百万円 (前年同期比4.0%増)

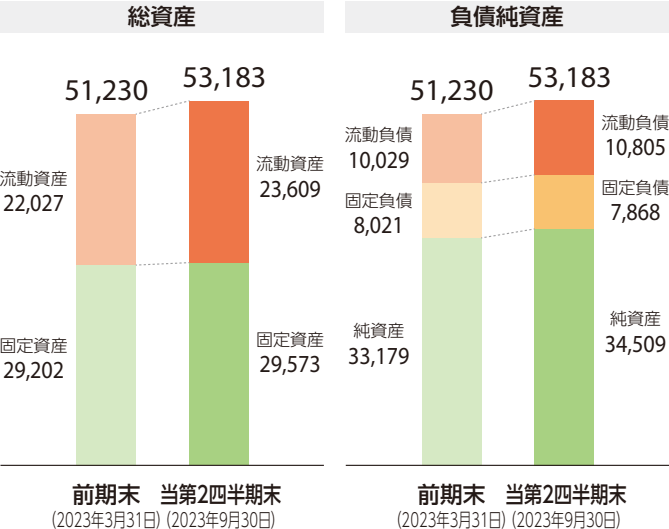


(単位:百万円)

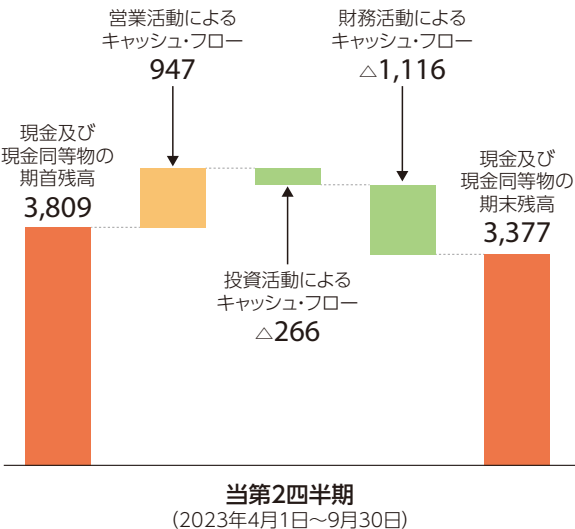
連結損益計算書



連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー計算書



カーリットグループの健康経営



当社グループは、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人認定制度」における「健康経営優良法人 2023（大規模法人部門）」に認定されました。



● 健康経営の目的

当社グループの安定的な成長に向けて、健康経営の推進により、従業員の心身の健康の保持・増進、エンゲージメントの向上、労働時間の適正化を進めることで従業員の生産性向上を目指します。

● 健康経営の組織体制

カーリットホールディングス代表取締役兼社長執行役員を「健康経営管理責任者」、人事部担当役員を「健康経営推進責任者」、人事部を「健康経営推進部署」とし、健康保険組合・グループ各社の産業医、総務人事関連部門、衛生委員会、労働組合と情報共有・意見交換を行いながら取り組んでいます。

● 健康経営の施策

さらなる健康経営の推進に向けて戦略マップの策定や健康増進アプリの導入による従業員の健康保持・増進に積極的に取り組んでいます。

これまでの取り組みを継続していくのはもちろんのこと、今後は健康増進イベントなど、より一層健康への支援を強化・推進し、企業価値のさらなる向上を目指します。

主な取り組み事例

- インフルエンザ予防接種の補助
- 従業員と家族の健康診断受診の勧奨
- 特定保健指導
- 人間ドック受診補助、50歳・55歳・60歳到達時の脳ドック受診補助
- 常備薬配布
- 健康相談電話窓口設置
- 健康関連情報提供
- スポーツ奨励
- 健康増進アプリ
- 禁煙支援

2022年度健康診断受診率
(目標100%)

97.9%

2022年度ストレスチェック受検率
(目標100%)

93.8%

会社概要

■ 会社概要 (2023年9月30日現在)

商号 カーリットホールディングス株式会社
(英文社名 Carlit Holdings Co.,Ltd.)
設立 2013年10月1日
資本金 2,099百万円
従業員数 1,082名(連結)

■ 主なグループ会社 (2023年9月30日現在)

●化学品事業部門	
日本カーリット株式会社	化学・化学品・電子材料品・研削材・煙火用材料等の製造・販売、危険性評価試験および電池試験の請負
株式会社シリコンテクノロジー	半導体用単結晶シリコンおよび半導体用シリコンウェーハの製造・販売
佳里多(上海)貿易有限公司	化学品および電子材料等の仕入・販売
●ボトリング事業部門	
ジェシーボトリング株式会社	清涼飲料水のボトリング加工・販売
●金属加工事業部門	
並田機工株式会社	各種耐熱炉内用金物の製造・販売
アジア技研株式会社	スタッドおよび溶接機械の製造・販売
東洋発條工業株式会社	自動車および建設機械向け各種金属スプリングおよびプレス品の製造・販売
●エンジニアリングサービス事業部門	
カーリット産業株式会社	エンジニアリング、建設業務、白蟻防除の施工・請負
南澤建設株式会社	建築工事・土木工事の設計・施工
富士商事株式会社	工業用塗料販売および塗装工事
株式会社総合設計	建築物、工作物、上下水・排水処理施設等の設計および監理
株式会社エスディーネットワーク	建築の設計および監理並びにコンサルタント業務

■ 役員 (2023年10月17日現在)

取締役		監査役	
代表取締役兼社長執行役員	金子 洋文	常勤監査役(社外)	野沢 勝則
取締役兼執行役員	小川 文生	監査役(社外)	藤原 康弘
取締役兼執行役員	山口 容史	監査役	青木 章哲
取締役(社外)*	山本 和夫	監査役	岩井 常道
取締役(社外)*	新保 誠一	執行役員	
取締役(社外)*	村山 由香里	執行役員	岡本 英夫
		執行役員	高橋 茂信
		執行役員	天内 心
		執行役員	中津 隆一
		執行役員	引地 智則

*を付した役員は東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

株式の状況

■ 株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式の総数 24,050,000株
単元株式数 100株
株主数 27,523名

■ 大株主 (2023年9月30日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	2,652	11.1
みずほ信託銀行(株)退職給付信託 丸紅口 再信託受託者 (株)日本カストディ銀行	1,997	8.3
日油(株)	915	3.8
みずほ信託銀行(株)退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 (株)日本カストディ銀行	913	3.8
明治安田生命保険(相)	700	2.9
長瀬産業(株)	700	2.9
(株)日本カストディ銀行(信託口)	556	2.3
芙蓉総合リース(株)	522	2.2
関東電化工業(株)	464	1.9
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	437	1.8

■ 所有者別株式分布状況 (2023年9月30日現在)

